

グリーン社会の実現に向けて、「山口大学グリーン社会推進研究会」を設立しました

人文・社会科学から自然科学までの「総合知」を結集し、グリーン社会の実現に貢献します。

山口大学グリーン社会推進研究会 会長

上西 研 山口大学理事・副学長（学術研究担当）



カーボンニュートラルの達成等によるグリーン社会の実現は、人類の存続に直結する世界共通の目標であると同時に、国や地域が持続的に成長するために、避けては通れない最重要課題の一つです。特に、山口県は温室効果ガス排出割合が大きい産業構造を形成しており、地域ゼロカーボンに向けた取組が喫緊の課題となっています。

このような背景のもと、グリーン社会実現のための基盤となる科学的知見を創出することを目的とした「山口大学グリーン社会推進研究会」を令和4年3月17日に設立しました。本研究会には総会、幹事会のもとに8つの部会を置いています。部会ごとに大学の研究シーズと企業・自治体のニーズ等に関して情報や意見の交換等を行い、そこから創出された産学公連携による共同研究等により、従来の脱炭素・循環技術などの諸課題をブレークスルーした革新的な技術とともに新しいグリーン地域社会システムを生み出したいと考えています。

大学の科学的知見を社会実装に繋げるためには企業や自治体等の皆様方の力が不可欠です。「山口大学グリーン社会推進研究会」は皆様方のご入会を心よりお待ちしております。

設置目的

- 企業、自治体、産業支援機関、大学等が連携したネットワークを形成
- 情報交換等の場の創出
- 企業間や産学公連携による新たな研究開発等を推進
- 地域におけるカーボンニュートラル実現への貢献

活動内容

- ◆会員相互の交流、情報交換、各種連携の場の創出
- ◆カーボンニュートラル・脱炭素社会に向けた取り組みに関する情報収集・提供
- ◆企業間・産学公連携による研究開発・事業化の促進

【山口大学グリーン社会推進研究会ロゴマーク】

日本政府が発表した「2050年カーボンニュートラル宣言」を受けて設立された山口大学グリーン社会推進研究会のロゴマークは、グリーンの頭文字「G」、そしてカーボンニュートラルの「ゼロ」を、山口大学の頭文字「Y」で白く抜いています。上向きの矢印の部分は、「CO₂の排出と吸収の循環」を表現しています。



水素関連技術部会

部会長：中山 雅晴 大学院創成科学研究科 教授



炭素を出さずに地球を動かす取組にはCO₂フリーな代替燃料の使用が不可欠であり、水素はその代表格です。クリーン燃料である水素は、製造法や貯蔵・輸送に多くの課題がありますが、本学の多岐に渡る分野の研究成果を活用して課題に取り組みます。

バイオ・リサイクル部会

部会長：今井 剛 大学院創成科学研究科 教授



バイオテクノロジーを利用した環境負荷の少ない生産技術や、再生可能エネルギー、有価資源のリサイクル技術等の研究成果を活用できます。また、本学中高温微生物研究センターの研究施設や貴重な菌株を用いた技術開発も可能です。

グリーンプロセス部会

部会長：三上 真人 大学院創成科学研究科 教授



水素・アンモニアの製造・燃焼、バイオ燃料・合成燃料 (SAF, e-fuel) 製造、CCUS、カーボンリサイクル、グリーン有機合成化学、光触媒等をキーワードに、革新的なグリーンプロセス技術の創出につなげていきます。

スマート農業・フードシステム部会

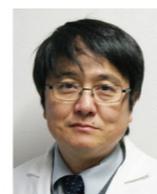
部会長：荊木 康臣 大学院創成科学研究科 教授



植物工場・施設栽培における省エネルギー化・再生可能エネルギー利用、化学農業・化学肥料使用量低減、フードロス削減、スマート農業・デジタルファームリング、スマート育種、スマートフードチェーンなどをキーワードに、研究や技術開発に取り組んでいます。

材料・生産技術部会

部会長：佐伯 隆 大学院創成科学研究科 教授



機能性材料や環境に優しい材料、既存品に付加価値を持たせた材料等を開発する研究と、それを工業的に生産し様々な用途に展開できる技術を発展させることにより、グリーン社会の構築に貢献します。

社会システム部会

部会長：中村 秀明 大学院創成科学研究科 教授



DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進やカーボンニュートラルに向けた社会システムの見直しにより、社会生活のあらゆる局面で生じるエネルギーの消費を効率良く抑制し、脱炭素に貢献します。

電池・電源部会

部会長：藤井 健太 大学院創成科学研究科 教授



電気自動車 (EV) は、カーボンニュートラルの実現に向けた取組の最たる例です。全固体電池を中心とした革新電池研究、電力制御技術による柔軟な電気エネルギーの利用システム、電力システムで使用される高電圧・大電流半導体デバイスなど、関連分野は多岐にわたります。

教育開発推進部会

部会長：柴田 勝 教育学部 准教授



学校や地域コミュニティにおいて、住環境、食などの身近な生活を起点とした多様な学びから、カーボンニュートラルへの理解と思考法・発想力を高め、グリーン社会の推進に寄与できる人材を養成します。

研究会の会員を募集しています

部会活動を通じたカーボンニュートラル・脱炭素社会に向けた取組に関心のある民間企業、経済団体、金融機関、自治体、産業支援機関、高等専門学校、大学等に所属する方を対象としています。
※会費は無料です。

